



記者発表資料



「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（千葉市分）」について

今年度に実施した、「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（千葉市分）」について、お知らせします。

1 趣旨・目的

- (1) 児童生徒の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査概要

- (1) 実施時期
令和3年4月～令和3年7月
- (2) 調査対象
ア 市立小学校107校の第5学年 計7,624人
イ 市立中学校 54校の第2学年 計7,095人
- (3) 調査事項
ア 実技に関する調査
イ 質問紙調査

3 結果概要（※詳細は別紙参照）

- (1) 体力・運動能力の状況について
千葉市の児童生徒の体力は、体力合計点では全国平均を上回っているが、小学生男女、中学生男子は、上体起こしと20mシャトルランが全国平均を下回っている。
- (2) 運動やスポーツへの意識について
運動やスポーツを「好き」「やや好き」と回答した児童生徒は、全国平均を若干上回っているが、令和元年度と比較すると、小学生男女、中学生男女ともに下がっている。
- (3) 運動部活動の状況について
運動部活動での1週間当たりの実施時間は、全国平均を上回っているが、令和元年度と比較すると、男子は約92分、女子は約128分短くなっている。